

【概況】

1 内政

- (1) 地方議会議長会合の開催
- (2) ハバナ国際見本市の開催
- (3) キューバ総選挙における人民権力市議会議員選挙の候補者確定
- (4) 十月革命記念式典の開催

2 外交

- (1) 国連総会における「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」決議案採択
- (2) ロドリゲス外務大臣の米国企業との対話
- (3) ベトナム共産党代表団のキューバ訪問
- (4) 米国による対キューバ制裁に関する関係諸規則改正の発表
- (5) リ・ヨンホ北朝鮮外務大臣によるラウル・カストロ国家評議会議長表敬
- (6) キューバとフランス開発庁（AFD）とのクレジットに関する協定への署名
- (7) トー・ラム・ベトナム公安大臣によるラウル・カストロ国家評議会議長表敬

【本文】

1 内政

(1) 地方議会議長会合の開催

1日、ハバナにおいてラソ人民権力全国議会議長が召集し、各県議会及び市議会議長の会合が行われた。ハリケーン・イルマによる被災地での復旧作業の状況について報告があった。

(2) ハバナ国際見本市の開催

10月30日ー11月3日、ハバナ郊外において第35回ハバナ国際見本市が開催。日本を含む70カ国以上が参加した他、2017年版投資機会リストが公表された。同リストには、マリエル開発特区における外国投資対象案件及びキューバ国内その他地域における外国投資対象案件計456件（投資総額107億ドル）が記載されており、案件数は昨年度に比べ156件、投資総額は12億ドル増加した。新規案件の内29件がマリエル開発特区におけるもので、約30億ドルに上る。

(3) 人民権力市議会議員選挙の実施

2日、全国選挙委員会は、人民権力市議会議員選挙の候補者が確定した旨を発表した。各地における有権者集会には、有権者の78%が参加し、全国で27,221人の候補者が選出された。現職の議員の66.44%が改めて候補となった。

26日に第一回投票が行われ、11,415人の当選が確定。投票率は85.94%。1,100の選挙区では、12月3日に第2回選挙が実施されることとなった。

(4) 十月革命記念式典の開催

7日、ラウル・カストロ国家評議会議長は、旧ソ連の十月革命100周年を記念する政治・文化的な式典を開催した。

2 外交

(1) 国連総会における「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」決議案採択

1日、国連総会において、「米国の対キューバ経済制裁終了の必要性」決議案が採択された。キューバ外務省は、ヘイリー米国連常駐代表が当該決議案に反対する旨の発言を行った後、ツイッターで米国批判のメッセージを発表した他、投票後プレスリリースを発売し、本投票により米国の不公正かつ非人道的な政策に対し国際社会が断固たる拒否を表明したとした。

(2) ロドリゲス外務大臣の米国企業との対話

3日、ロドリゲス外務大臣は、米国商工会議所及び米キューバビジネス委員会が共催した米国企業関係者との会合に出席した。同会合には、30人以上のキューバとのビジネス関心を有する米国企業の経営者が出席した。ロドリゲス外務大臣は、米キューバ関係が後退している現状を伝え、それが両国の経済貿易関係に大きな影響を及ぼしていると発言した。また、米国政府の決定により、在米キューバ大使館の経済貿易オフィスが誰もいない状態になっていることは全く正当化されない状況であると強調した。さらに、キューバ政府として、米国との貿易関係を拡大する準備があると述べた。

(3) ベトナム共産党代表団のキューバ訪問

6日、ラウル・カストロ共産党第一書記は、ヴォ・ヴァン・トゥオン (Vo Van Tuong) ベトナム共産党政治局員兼中央委員会宣伝・教育部会長の表敬を受けた。

4日、ディアスカネル共産党政治局員兼国家評議会第一副議長は同氏と会談した。双方の党務に関する意見交換及びベトナムの改革プロセスとキューバの経済社会モデルの更新の実施状況に関する意見交換を行った。

(4) 米国による対キューバ制裁に関する関係諸規則改正の発表

8日、米国が新たな対キューバ制裁に関する関係諸規則の改正を発表した。これに対し、キューバ外務省は声明を発表し、本措置は二国間関係に重大な後退をもたらすものであり、反体制的な面が現れている、さらには米国企業も利さない等と評価した。

(5) リ・ヨンホ北朝鮮外務大臣によるラウル・カストロ国家評議会議長表敬

24日、キューバを来訪したリ・ヨンホ北朝鮮外務大臣がラウル・カストロ国家評議会議長を表敬した。双方は、両国間に存在する歴史的な友好の絆を確認し、国際社会において共通の関心を有するテーマについて意見交換した。リ・ヨンホ外務大臣はラウル・カストロ議長に、金正恩労働党委員長からの挨拶とメッセージ、そしてフィデル・カストロ前国家評議会議長の1周忌に対する弔意を伝えた。22日には外相会談が行われた。

(6) キューバとフランス開発庁（AFD）とのクレジットに関する協定への署名

20日、キューバ政府と仏開発庁（AFD）が牧畜業に関する2,500万ユーロの借款協定（Convenio de Credito）に署名した。キューバ側はマルミエルカ外国貿易・外国投資大臣が、仏側はコナンAFDラ米カリブ局長が署名した。

(7) トー・ラム・ベトナム公安大臣によるラウル・カストロ国家評議会議長表敬

27日、ラウル・カストロ国家評議会議長は、トー・ラム・ベトナム公安大臣の表敬を受けた。表敬において、両国国民、党、政府を結ぶ歴史関係が素晴らしい状態にあると確認された。

3 要人往来

(1) 来訪

マルティナ・キュラソー経済開発大臣
ドス・サントス・カーボ・ベルデ国会議長
フェレンス・スロバキア経済担当大臣

ハブリセック・チェコ商工大臣

ヴォ・ヴァン・トゥオン (Vo Van Tuong) ベトナム共産党政治局員兼中央委員会
宣伝・教育部会長

シハルット (Szijjartto) ハンガリー外国貿易大臣

クレティン (Chretien) 元カナダ首相

リ・ヨンホ北朝鮮外務大臣

トー・ラム・ベトナム公安大臣

フェリペ・デ・カストロ・ポルトガル文化大臣

(2) 往訪

ロドリゲス外務大臣の訪米

ペレス科学技術環境大臣第39回ユネスコ総会出席

カブリサス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣及びマルミエルカ外国貿易・外国
投資大臣のベネズエラ訪問